

NEWS RELEASE

2018年9月27日

大阪家庭薬協会

鹿島 健司

平成30年 地域に密着した家庭薬の振興事業

—神農祭とロングセラー家庭薬の展示—

1. くすりのキャラ大集合！くすりの町・道修町の「神農祭」を盛り上げる ～大阪の少彦名神社と薬問屋や製薬企業の集う、くすりの町をPR！～

少彦名神社と大阪家庭薬協会は(大阪市中央区)は、11月22日・23日に少彦名神社で行われる「神農祭」で、くすりのキャラクターが集まるイベントを企画し、少彦名神社・大阪家庭薬協会と共に開催します。

※平成29年11月22日～23日、参拝者6万人（主催者発表）。



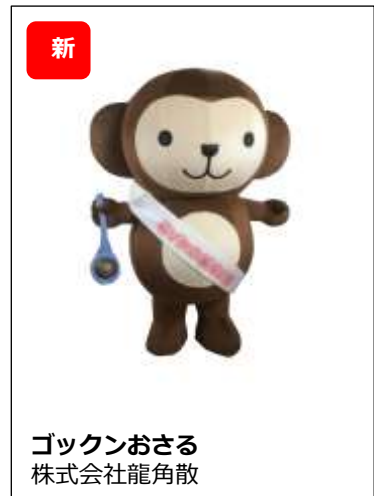
神農祭は、くすりの町・道修町にある「少彦名神社」の無病息災を祈願する祭事です。神農祭は、張子の虎(五葉笹)を求め大阪内外から毎年訪れる参拝者がいる一方で、核家族化や進学・就職などで転入し、こうした祭や歴史を知る機会のない単身世帯も増加しています。今年で6年目の当イベントは、くすりの町・道修町と少彦名神社の認知度向上のために企画されました。

■ 6年目。今年は16キャラが集合！

今年は16キャラが参加、このうち2キャラが初参加です。全キャラ勢ぞろいだけでなく、ランダムに登場したキャラ同士が肩を組んだり、テーマソングに合わせて即興でダンスしたりと、当イベントならではのレアなシーンは、特に好評の声をいただいております。

2018年 参加キャラクター





■神農祭 くすりのキャラクター大集合

概要 日時 :2018 年11 月22 日(木)・23 日(金・祝)

場所 :少彦名神社(大阪府中央区道修町2 丁目1-8)

【共催】少彦名神社、大阪家庭薬協会 幹事会社 : 森下仁丹(株)、常盤薬品工業(株)、
荒川化学工業(株)

イベントに関するメディアからの問い合わせ

大阪家庭薬協会 事務局 大阪府中央区伏見町2-4-6

TEL: 06 - 6231 - 7660 FAX:06-6231-7668

e - mail:daikakyo@daikakyo.ne.jp

web サイト: <http://www.daikakyo.ne.jp/>

■22日はパレード、23日はじゃんけん大会！ 道修町ミュージアムストリートが中心

22日は小西家住宅の向かい側(北浜TNK ビル・東海東京証券)前を中心に道修町通にキャラ達が続々登場し、夕方にはキャラ達のパレードを行います。

23日は、田辺三菱製薬前の公開空地を中心に道修町通に登場します。全キャラ集合写真はもちろん、個別に全キャラを撮影いただけます。また、各キャラとのじゃんけん大会を開催し、勝者にはキャラ達からのプレゼントを用意しています。

※平成29年のイベントの様子



道修町ミュージアムストリート

少彦名神社から徒歩5分圏内に医薬品に関する展示施設が5施設あります。

そのほとんどが土日祝を休館日、また、事前予約が必要な施設もありますが、神農祭2日目の11月23日は、祝日でも見学が可能、事前予約も不要です。

【道修町ミュージアムストリート】各施設の開館時間・休館日などの詳細は

<https://www.mtpc-shiryokan.jp/map/> (田辺三菱製薬史料館WEB サイト)



2. 神農祭 健康応援袋の作成と配布

神農祭（少彦名神社例大祭）に来られた参拝者の中から“くすりの道修町資料館”の見学者、道修町文化講演会の聴講者、「じゃんけん大会」参加者、毎月の献湯祭参拝者、健康応援袋のロゴ参加会社に3000枚の健康応援袋を配布予定。

巾着：金色 方紐 止め玉付 W20cm×H22cm



ロゴデザイン



3. 少彦名神社への献薬

会員会社29社67品目の献薬の参加があった。献薬品(医薬品・医薬部外品・食品)は社会福祉法人 産経新聞厚生文化事業団へ寄付予定。

※平成29年の献薬状況

献薬の風景:参加会員会社 32社 82品目



献薬品は寄付:社会福祉法人 産経新聞厚生文化事業団へ寄付

4. 少彦名神社参道の展示 :現在の状況

日本家庭薬協会 会員会社の医薬品(2種類)を常設展示

神社への参拝客や神農祭（少彦名神社例大祭）の時に来られた参拝者6万人（主催者発表）に日本家庭薬協会の会員会社の個性豊かな技術を有しているロングセラー製品を見ていただくことを目的にして、参道展示を行っている。

また、少彦名神社に来られる中国・台湾・タイの旅行者を意識して中国語やタイ語のボード（日本の神薬）を設置。

日本家庭薬協会 会員会社の製品展示



5. 大阪科学館 特別展 「薬を知ろう！」

平成29年10月16日～平成30年1月14日

薬の歴史や技術、大阪家庭薬協会の紹介、現在の取り組みさらに「くすり」の特性などの理解ならびに適正な使用のための知識の普及や啓発を行う展示。場所は大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町）。

期間中の来場者は約6万人。

大阪科学技術館



「薬を知ろう！」ポスター

